

I.ご自身について

1.年齢

10代	
20~24	31
25~30	0
31~45	3
合計	34

※未回答1名

2.性別

男	25
女	9
合計	34

※未回答1名

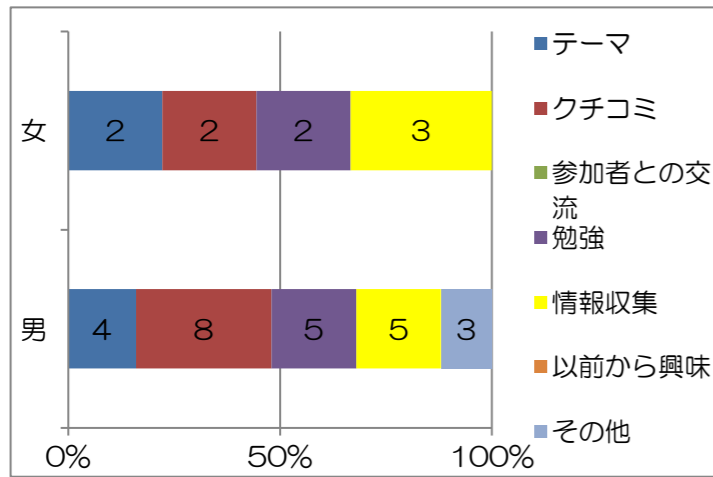
3.参加者

勤務医	2
医学生(4年生)	31

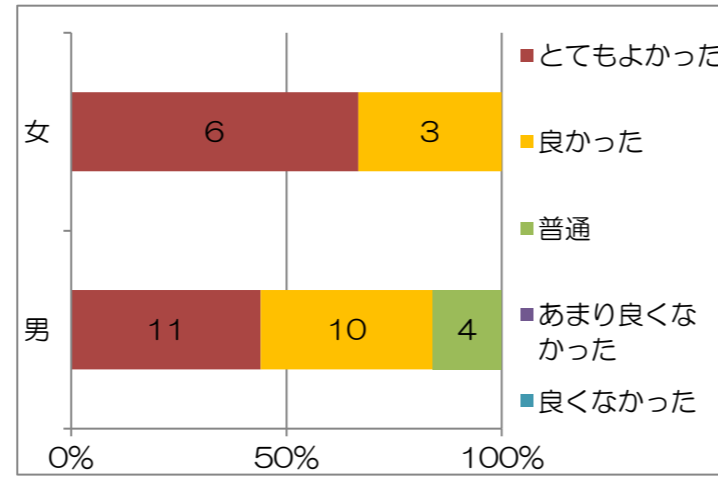
※未回答2名

II.今回の会について

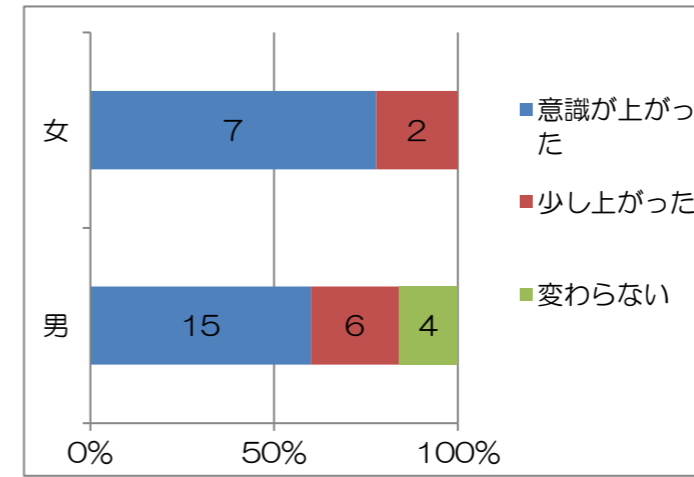
問1. 今回参加された理由をお聞かせください



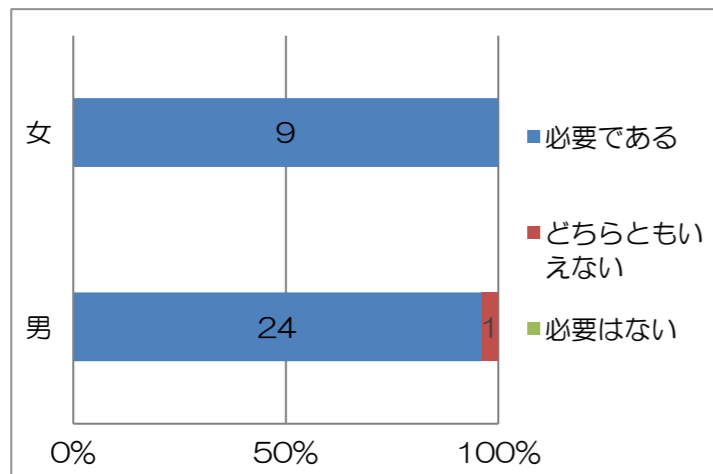
問2. 参加されての感想をお聞かせください



問3. 参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか

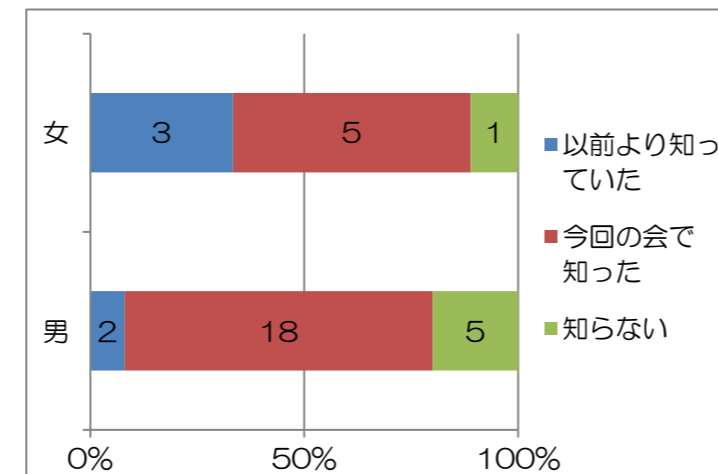


問4. 今後もこのような活動は必要だと思いますか



III. 日本医師会女性医師バンクについて

問1. 日本医師会女性医師バンクを知っていますか



Ⅱ-2. 参加されての感想をお聞かせください

（理由記述：女）

知らないことを知ることができた。

女性が社会で活躍するにはまだまだ壁があることを考えさせられた。

アメリカでも男女で収入等の差がついていることを初めて知った。これからの日本はどうあってほしいか考えられるいい機会になった。

（理由記述：男）

勉強になった。（2名）

ためになったから。

知らないことが知れてよかった。（2名）

自分からこのような機会には中々参加できなかったの。

実際の県の活動や、海外の状況も知ることができた。

異なる考えを入手することができた。

研究の大変さがわかった

将来の道すじなどがよく分かった

実際の医師の話を聞けたから。

知らなかった文化のちがいなどが学べたから

研修の現状についても、国際事情・アンコンシャスバイアスについても、目からウロコな話がとても多かったです。

田中先生の研修に関しては、知らないことがたくさんあったし、溝口先生の留学経験から学んだ教訓からいろいろな学びがあった。

医師になってからのことを知れてこれからの勉強のモチベーションになりました。

Ⅱ-3. 参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか

（理由記述：女）

アメリカの差別に対する意識の高さを知った。

今回の会で意識が少し変わった。

全く意識したことがなかったため、今後のキャリアを考える上で参考となった。

（理由記述：男）

考えるようになった。

詳しい説明だったから。

知っている知識もあったため。

知らない、わからないというのが、良くないと感じた。

知らない女性へのタブーがあり、びっくりしたから。

普段は考えることもなかったから。

日本の遅れを理解した

実体験や社会の話を聞けたから。

現状を知ることができたから

アンコンシャスバイアスは文字通り'無意識'なことなので、これから臨床実習や研修をする上でそのような社会的な面も気配りできるようになりたいです。

未だにアンコンシャスバイアスなどがあり、気づかないところでそういうことをやっていたかもしれないと感じた。

Ⅱ-4. 今後もこのような活動は必要だと思いますか

（理由記述：女）

講義だけでは知り得ない、将来のために大事な話を聞ける絶好の場だと感じたため。  
とても興味深かった。  
学年のうちに男女平等について考える機会をもつことは重要であると思う。

（理由記述：男）

忘れないように。  
情報が収集できるから。  
色々な考えを知ることは重要だと思うので  
まだまだ共同参画に対する理解が浅いと考えられるため。  
知る機会をもうけるのは重要だと思います。  
地道な活動による意識改革が必要  
活動は広めないと伝わらないから  
今後にも期待したい  
今の社会に沿っていく必要があるから。  
教育が一番重要であるため  
社会に出てから、では遅いと思います。時間と気持ちにも余裕のある学生のうちにしっかりと意識する癖をつけるべきです。  
アンコンシャスバイアスは未だに世の中に存在していると思うため。

Ⅳ-1. ご要望・ご意見等ございましたらご記入ください

（理由記述：女）

今後もこのようなイベントがあれば積極的に参加したい、また、このような活動でも話したいと思う。  
貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございました。

（理由記述：男）

面白かった。  
貴重な機会となりました。  
本日はありがとうございました。  
開催時期についてですが、共用試験CBTが終わってからの実施が良いと思います。また、4年生のみならず、5年、6年でもこのような機会をいただけると嬉しいです。